



# 2014年3月期 決算説明会

2014年5月15日

代表取締役会長兼社長  
實吉 繁幸

	ページ
<b>2014年3月期決算</b>	…… 2-18
<b>当社の経営戦略</b>	……19-26



# 2014年3月期決算

## ● 経営環境(中期的なトレンド)

- 経営の効率化・リスクマネジメント強化、医療のIT化
- 医療費抑制策は継続、予防医療・医療過誤抑制及び業務効率化への動き拡大 ⇒ 新市場 ⇒ この市場へ積極的に新製品(ROBO・検体検査装置・ヘルスケア)を投入  
    <BC・ROBO**RFID**、BC・ROBO-6、UA・ROBO、u-TRIPS>
- ROBOの国内市場開拓率:大病院 72%、中病院 15%
- 輸出:新市場の開拓と既存市場の拡充(特に成長期入り市場)

## ● 前期の経営環境

- ROBOの更新需要捕捉・・・新製品(ROBO-8000**RFID**)が貢献
- 各国で経済情勢不安定・・・案件を選別。欧州ではROBO増加

## ● 主な取組み

### ➤ ROBO

大病院 ⇒ 更新需要の捕捉  
中病院 ⇒ 新規開拓の加速  
健診センター ⇒ 販路拡大

⇒ { 粗利率を維持しつつ  
新たな市場を開拓

### ➤ 検体検査装置

検査室、緊急検査、手術室、産科及び動物病院、小病院  
へも販路拡大

### ➤ 輸出

各国の経済情勢不安定継続。引き続きキメ細かく案件捕捉

### ➤ 新製品

- ・検体情報統括管理システムを搭載したROBO-8000RFID
- ・RFID尿検体管理システム(u-TRIPS)の上市
- ・静脈可視化装置の利用拡大(麻酔科・小児科、救急救命等)
- ・酸化ストレスマーカー:小児科,NICU,健診,クリニック、研究室等

# 2014年3月期決算-3

## ● 決算サマリー

	2013年 3月期		2014年 3月期		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
<b>売上高</b> (期初見通し)	<b>8,151</b> (10,000)	<b>100.0</b> (100.0)	<b>9,000</b> (9,400)	<b>100.0</b> (100.0)	<b>+ 10.4</b>
<b>営業利益</b> (期初見通し)	<b>1,940</b> (2,000)	<b>23.8</b> (20.0)	<b>2,156</b> (2,000)	<b>24.0</b> (21.3)	<b>+ 11.1</b>
<b>経常利益</b> (期初見通し)	<b>1,944</b> (2,000)	<b>23.9</b> (20.0)	<b>2,159</b> (2,005)	<b>24.0</b> (21.3)	<b>+ 11.0</b>
<b>純利益</b> (期初見通し)	<b>1,243</b> (1,200)	<b>15.3</b> (12.0)	<b>1,355</b> (1,282)	<b>15.1</b> (13.6)	<b>+ 9.0</b>
1株当り純利益 (円)	142.0	----	154.7	----	+ 9.0
1株当り純資産 (円)	1,148.2	----	1,272.5	----	+ 10.8

(注) 2013年10月1日を効力発生日として、1:300の株式分割を実施。上記の1株当り指標は、2013年3月期の期初から株式分割をしたものと仮定して計算。

※採血管準備装置が牽引し、売上高営業利益率が0.15%改善(4期連続)

# 2014年3月期決算-4

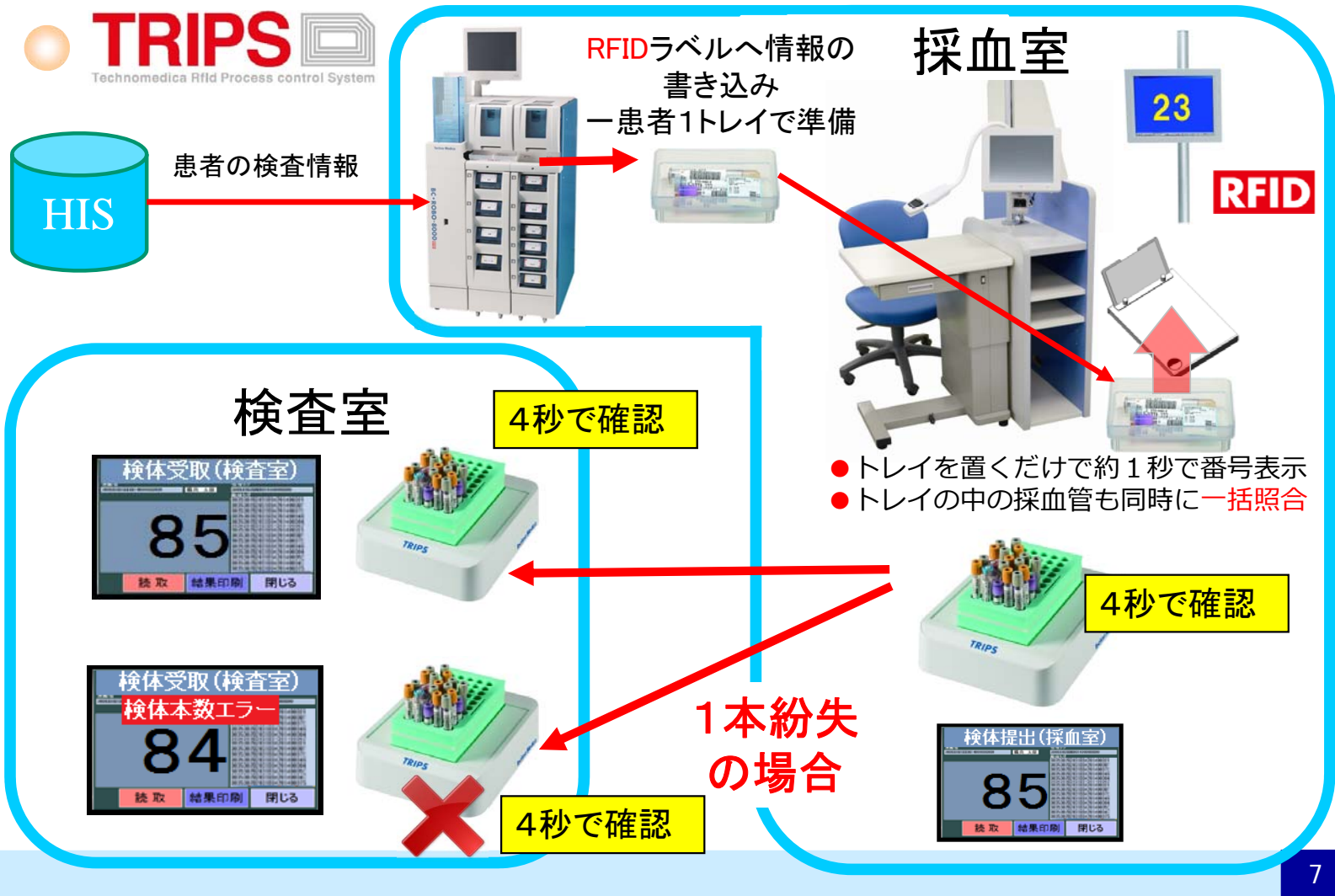
## ● 品目別売上高

(単位:百万円)

	2011年	2012年	2013年	2014年	
	3月期	3月期	3月期	3月期	前期比(%)
採血管準備装置	3,357	3,675	3,516	4,204	+ 19.6
構成比(%)	44.4	46.1	43.1	46.7	----
検体検査装置	660	657	770	681	△ 11.5
構成比(%)	8.7	8.2	9.4	7.6	----
消耗品等	3,282	3,450	3,663	3,905	+ 6.6
構成比(%)	43.4	43.2	44.9	43.4	----
その他	258	197	201	207	+ 3.4
構成比(%)	3.4	2.5	2.5	2.3	----
合計	7,559	7,980	8,151	9,000	+ 10.4

採血管準備装置は大病院を中心に更新需要を捕捉。TRIPS機能付多く国内1案件当たりの単価上昇

# 2014年3月期決算-5







## 病棟検体回収の優位性

RFID

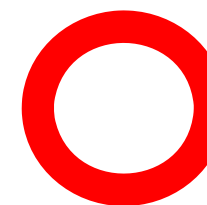


病棟検体

検査室へ



4秒で照合完了



- 不足が分かればすぐ病棟へ連絡
- まだ当直の看護師がいるため確認が可能

バーコード



病棟検体

検査室へ



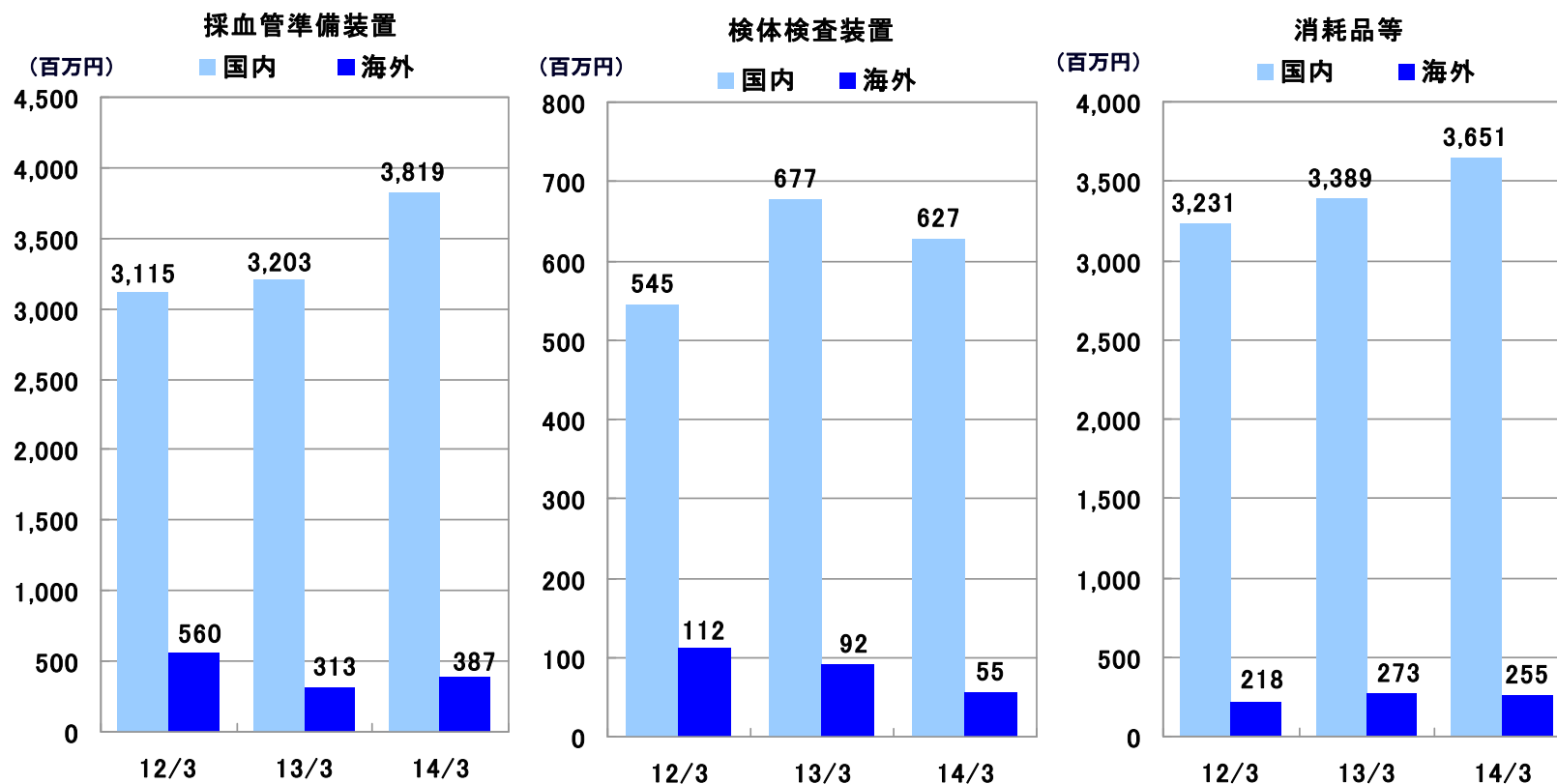
100本読取 約5分



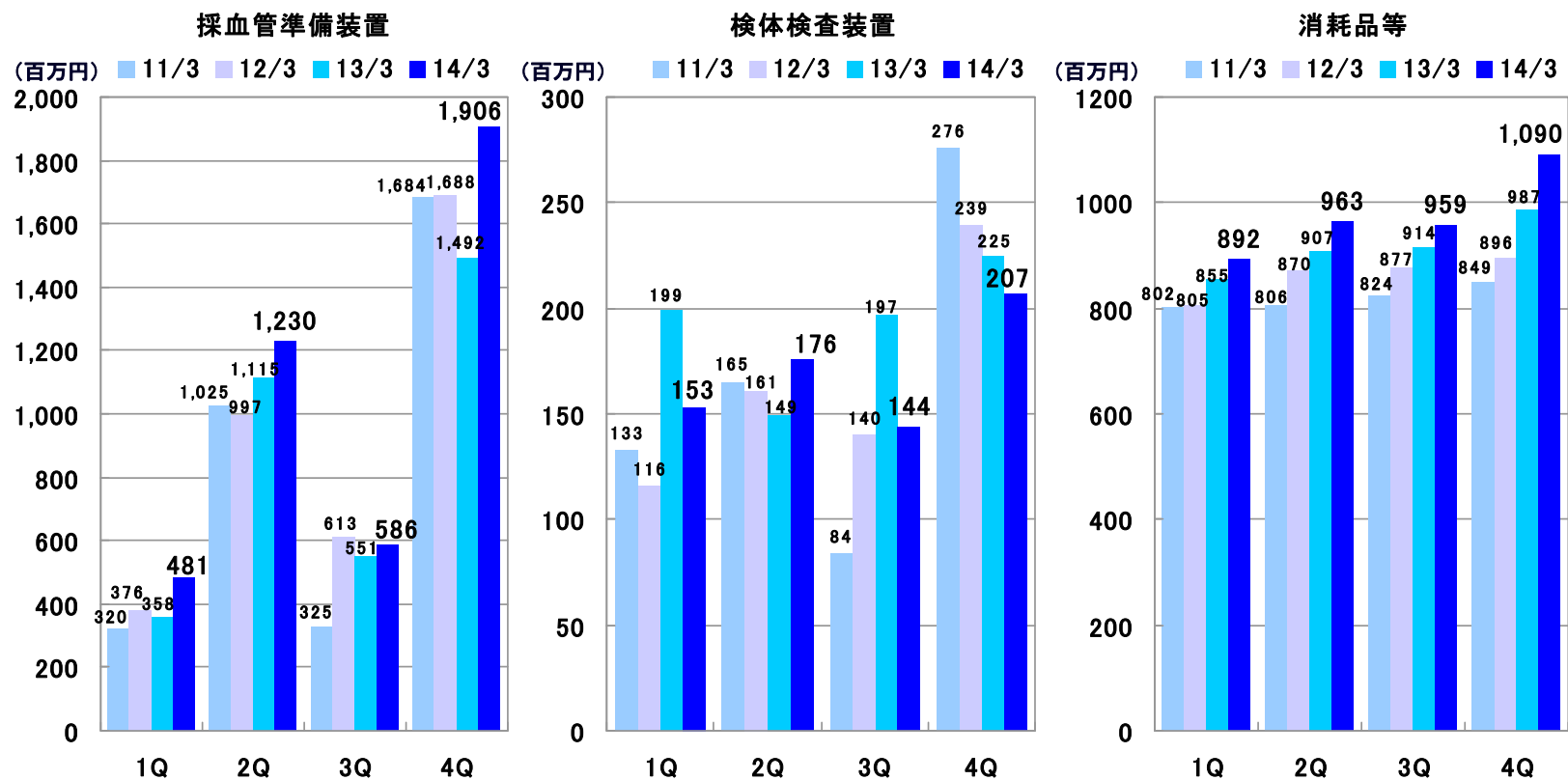
- 時間が掛かり既に当直の看護師が帰宅して分からないことも...



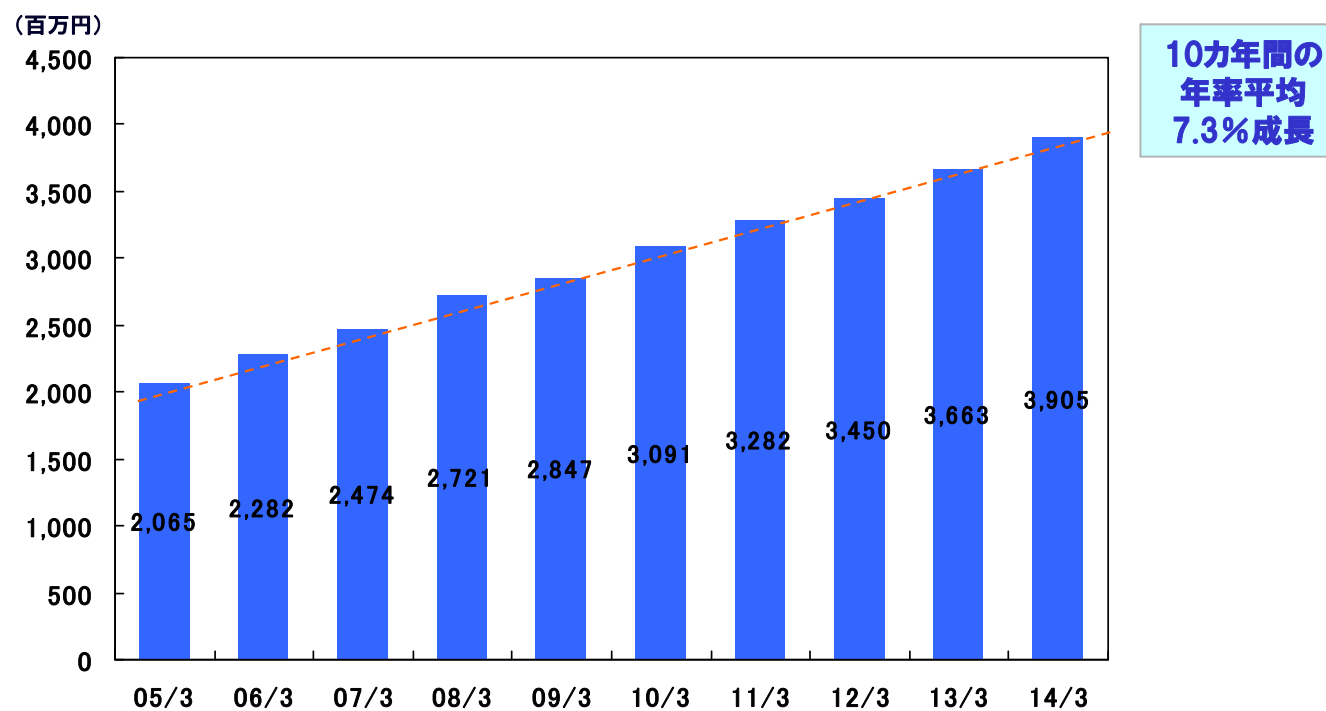
## ● 品目別売上高(国内・海外別)



## ● 品目別売上高(四半期別)



## ● 消耗品等の売上高推移(過去10年度)



## ● 採血管準備装置－ROBO納入施設数

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期
納入施設数	272	261	258
国内	204	208	208
(中間決算時見直し)			(228)
内、新規	67	67	54
(中間決算時見直し)			(70)
内、更新	137	141	154
(中間決算時見直し)			(158)
輸出	68	53	50

### ・国内の納入推移(含む更新)

	11/3	12/3	13/3	14/3
大病院	72%	72%	78%	76%
中病院	26%	26%	21%	23%
その他	1%	1%	1%	1%

### ・平均納入単価(国内+輸出)

‘14/3:16.3百万(前期:13.5)

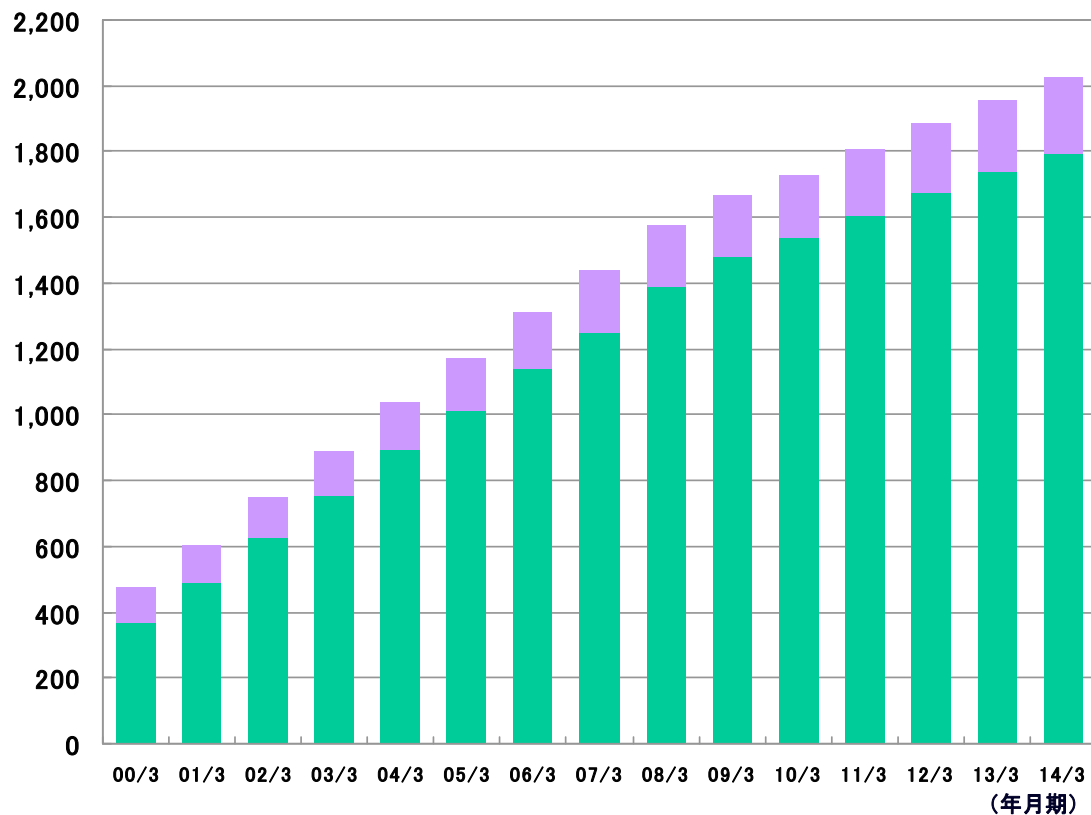
・国内:更新で高付加価値化。

・輸出:計画比、低調。欧州で増加だがアジア、中南米で減少

検体情報統括管理システムを  
搭載したROBOの拡大で単価  
アップ

## ● 採血管準備装置－納入施設の推移

(累計施設数)



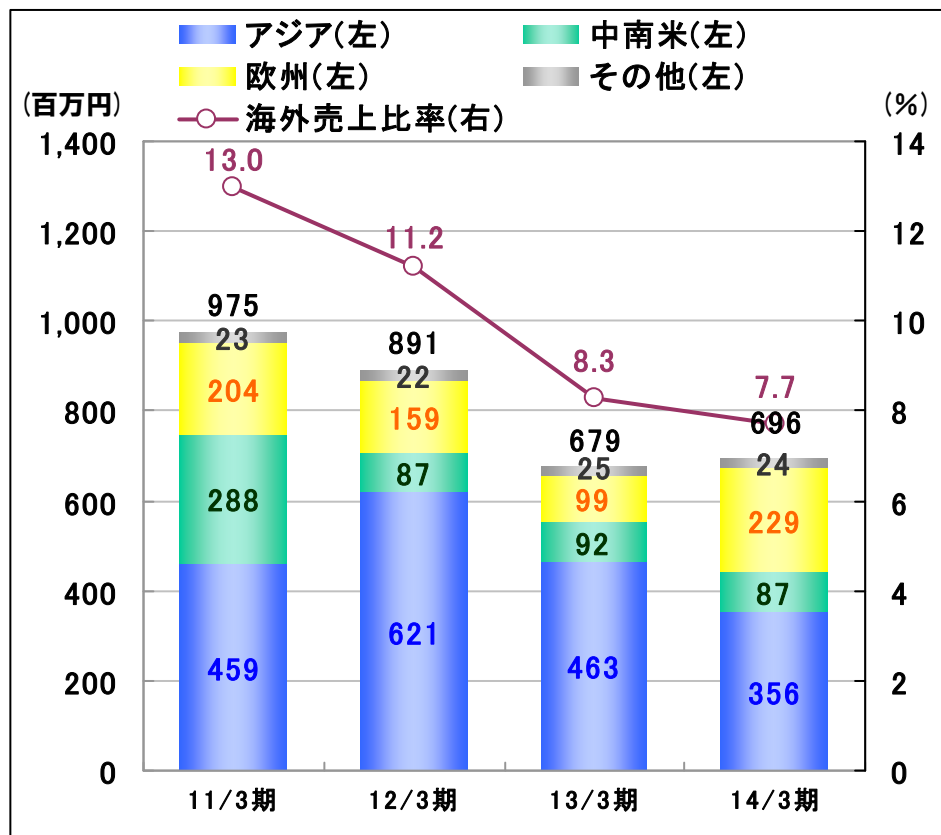
他社納入数  
(231施設)

当社納入数  
(1793施設)

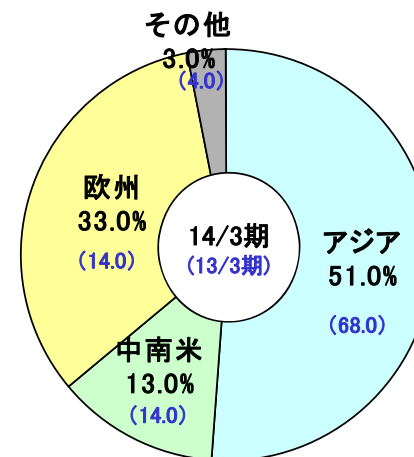
**シェアー 88.6%**

(出所: 当社データ)

## ● 海外売上高



## 地域別の売上構成比



2013/3月期：  
消耗品を除き、全地域で前期比減少

2014/3月期：  
欧州を除き、全地域で前期比減少

## ● 要約損益計算書

(単位:百万円、%)

	2013年3月期		2014年3月期		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
売上高	8,151	100.0	9,000	100.0	+ 10.4
売上原価	3,953	48.5	4,467	49.6	+ 13.0
売上総利益	4,197	51.5	4,532	50.4	+ 8.0
販売管理費	2,257	27.7	2,376	26.4	+ 5.3
営業利益	1,940	23.8	2,156	24.0	+ 11.1
営業外損益	4	0.0	3	0.0	---
経常利益	1,944	23.9	2,159	24.0	+ 11.0
特別損益	0	0.0	0	0.0	---
法人税、調整額等	701	8.6	804	8.9	+ 14.8
当期純利益	1,243	15.3	1,355	15.1	+ 9.0



● 要約貸借対照表【資産の部】

	2013年3月末		2014年3月末		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)
<b>流動資産</b>	11,207	87.5	12,108	87.5	+ 901
現預金	5,516		6,119		+ 602
売上債権	4,005		4,218		+ 213
棚卸資産	1,623		1,701		+ 78
その他流動資産	62		70		+ 8
<b>固定資産</b>	1,601	12.5	1,737	12.5	+ 136
有形固定	1,319		1,420		+ 100
無形固定	5		35		+ 30
投資等	276		281		+ 5
<b>資産合計</b>	12,809	100.0	13,845	100.0	+ 1,036

● 要約貸借対照表【負債・純資産の部】

	2013年3月末		2014年3月末		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)
流動負債	2,434	19.0	2,412	17.4	△ 22
買入債務	1,609		1,492		△ 116
短期有利子負債	-		-		-
その他流動負債	825		919		+ 94
固定負債	315	2.5	286	2.1	△ 29
長期借入金	-		-		-
その他固定負債	315		286		△ 29
負債合計	2,750	21.5	2,698	19.5	△ 52
純資産合計	10,058	78.5	11,147	80.5	+ 1,089
負債・純資産合計	12,809	100.0	13,845	100.0	+ 1,036

## ● 要約キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	
	金額	金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,282	1,052	△ 229
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 192	△ 313	△ 121
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 357	△ 266	+ 91
現金・現金同等物の増加額	732	472	△ 260
現金・現金同等物の期首残高	3,186	3,919	+ 732
現金・現金同等物の期末残高	3,919	4,392	+ 472
研究開発費	478	472	△ 5
設備投資実施額	87	162	+ 74
減価償却実施額	41	54	+ 13



# 当社の経営戦略

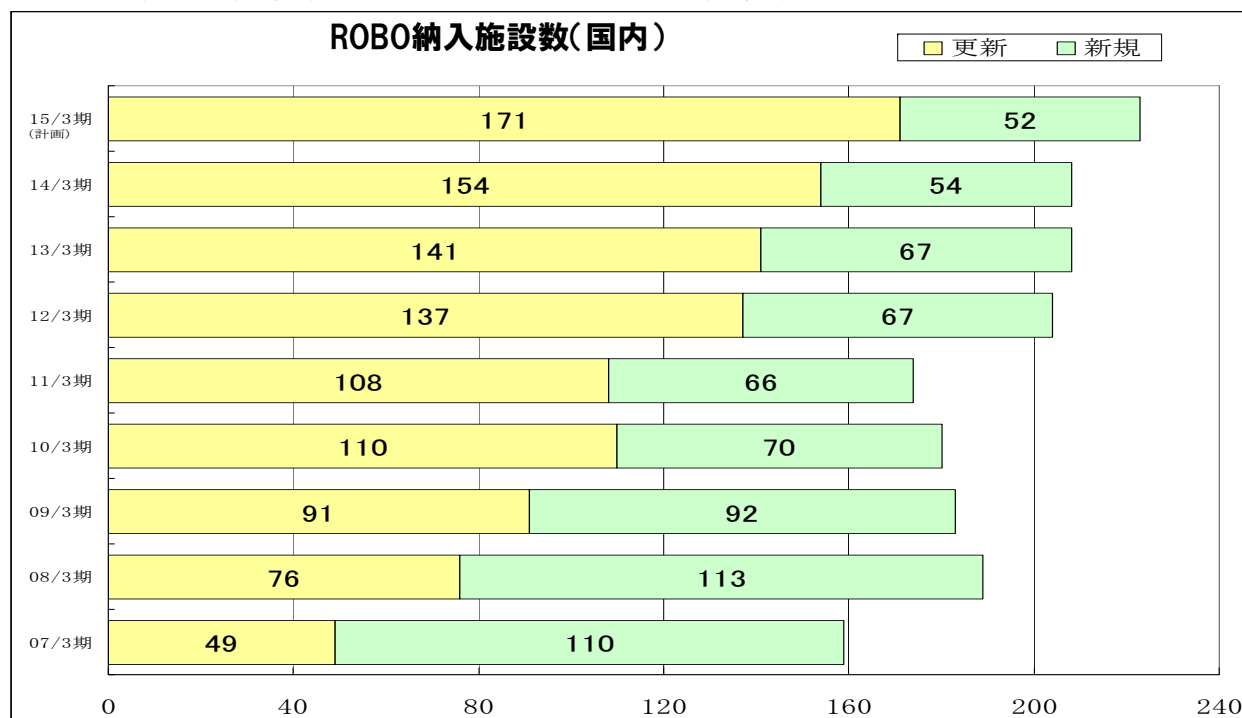
## ● 2015年3月期業績見通し

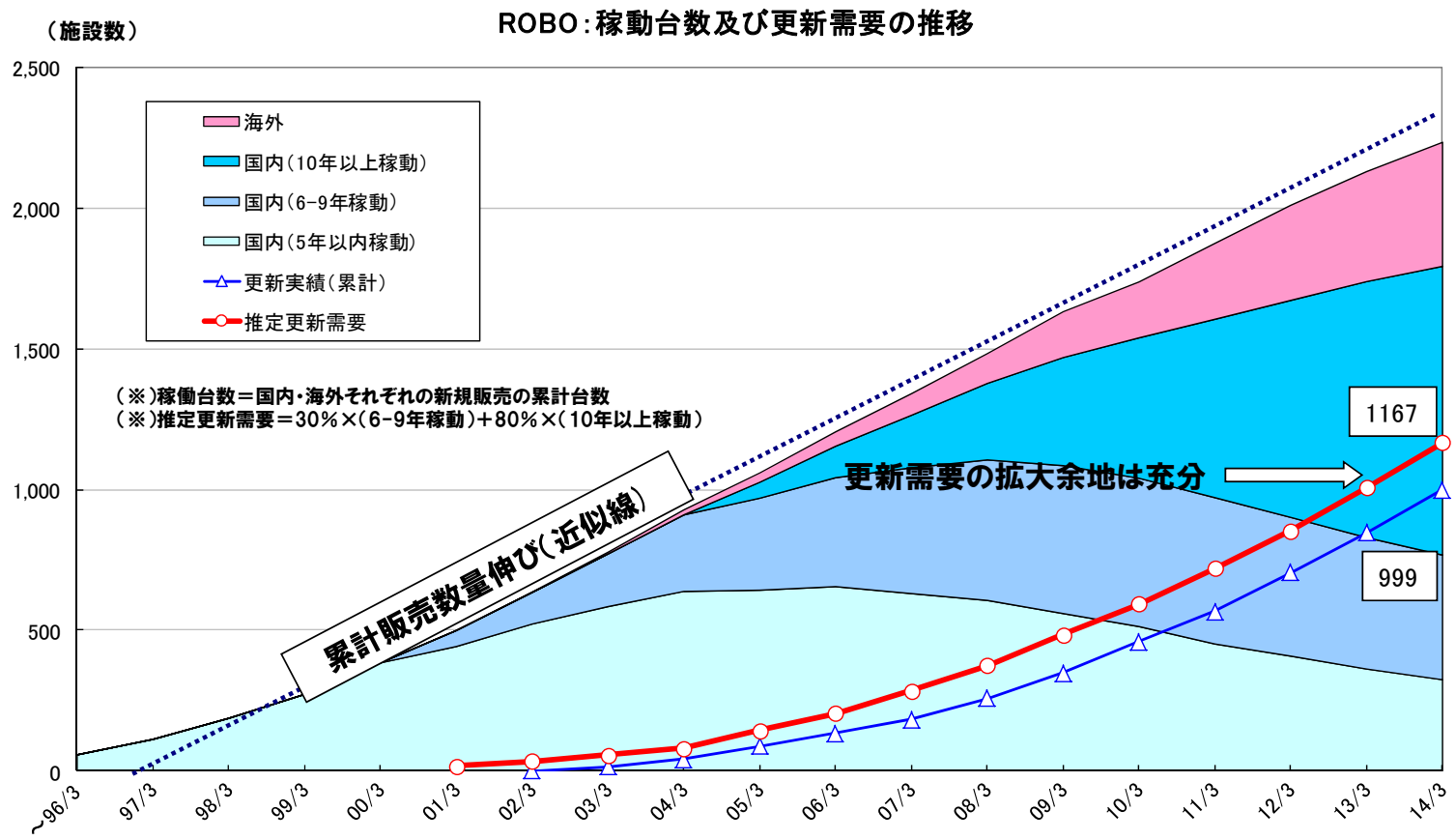
	2014年3月期		2015年3月期（予）		
	金額（百万円）	百分比（%）	金額（百万円）	百分比（%）	前期比（%）
売上高	9,000	100.0	10,019	100.0	+ 11.3
営業利益	2,156	24.0	2,302	23.0	+ 6.8
経常利益	2,159	24.0	2,306	23.0	+ 6.8
当期純利益	1,355	15.1	1,447	14.4	+ 6.8

研究開発費	472	5.2	498	5.0	+ 5.5
設備投資額	162	1.8	40	0.4	△ 75.3
減価償却費	54	0.6	78	0.8	+ 44.4

## ● 今期の課題① ▶ ROBO

- ◆ 引続き更新需要(大病院向け)の着実な捕捉
- ◆ 高機能新製品・ニューコンセプト新製品の上市





## ● 今期の課題②

### ▶ 新市場を作る新製品販売強化

- ◆ BC・ROBO-8000 **RFID**、BC・ROBO-6
- ◆ UA・ROBO-2000
- ◆ UA・ROBO-R250A
- ◆ u-TRIPS (**RFID**尿検体管理システム)

- ◆ 新型静脈可視化装置「Stat**Vein**」  
小児科・麻酔科等の新規販路開拓
- ◆ 酸化ストレスマーカー  
新規販路開拓(大学の研究室等)

ヘルスケア新製品

アミノサイン<sup>®</sup>・・・必須アミノ酸リジン測定  
現代型低栄養の発見



全自動尿分析・分取装置  
「UA・ROBO 2000」



非接触型静脈可視化装置  
「Stat**Vein**」





## ● 今期の課題② - 続き

### ▶ 検体検査装置

- ◆ 後継新製品 血液ガス分析装置「G-1800シリーズ」 の販売強化
- ◆ 新型電解質測定装置(STAX-5 inspire)の販売開始
- ◆ 電解質Na、K専用測定装置の量産製造継続(製造受託)

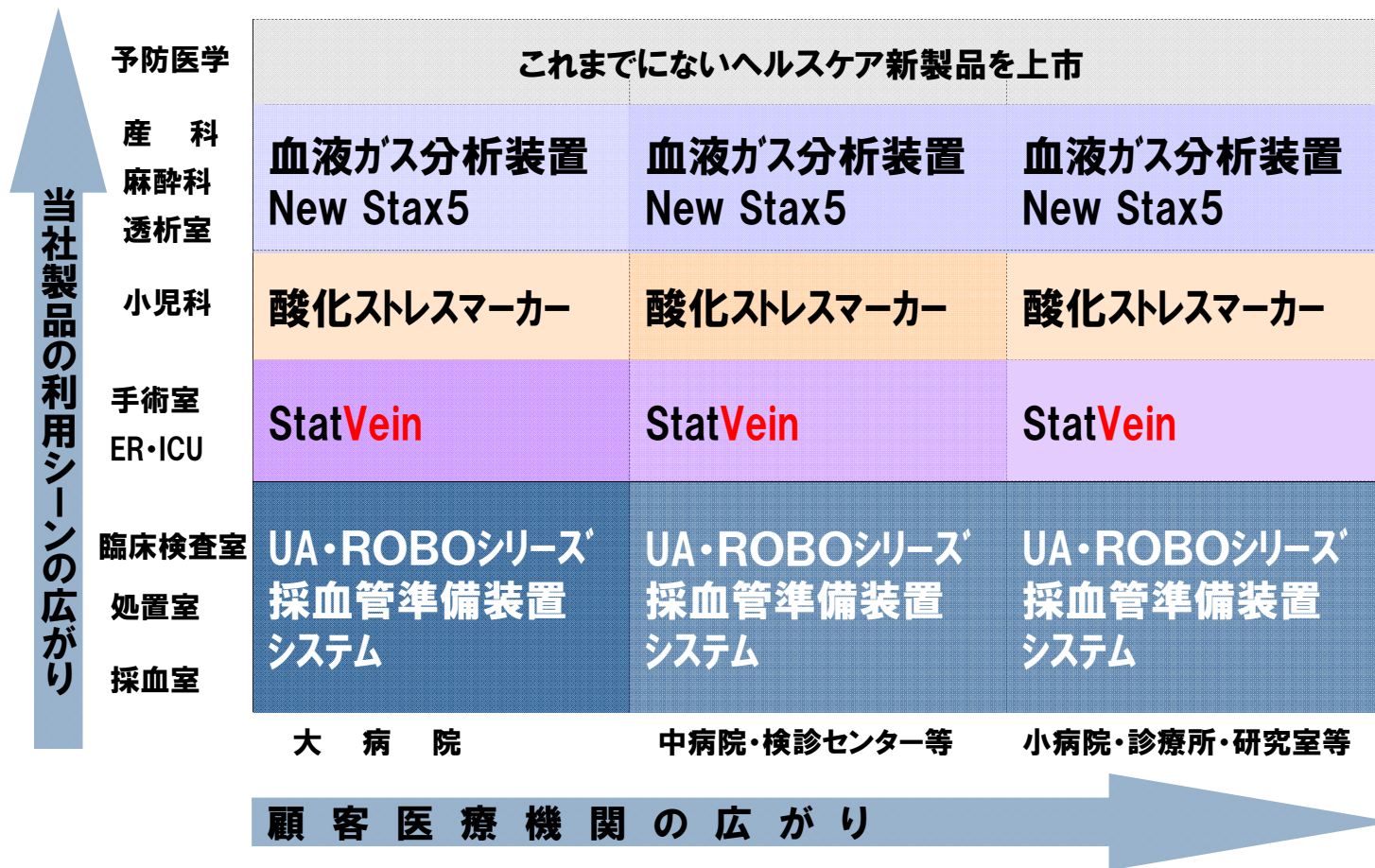


血液ガス分析装置  
「G-1800シリーズ」

### ▶ 輸出

- ◆ 新市場の開拓、既存市場での販売体制の強化
  - ・ 新興国+先進国で新市場の開拓
  - ・ 資金回収の確実性確保を継続

## 新製品を武器として新市場・新規顧客を開拓



## 中期事業計画(2014/3期~2016/3期)

### 最重要テーマ

#### ➤ スケールアップ

● 売上高伸び率目標      前年比+15.0%

#### ➤ 高収益率

● 売上高経常利益率      每期20%を確保

### 課題と施策

- ① 継続的な市場創出型新製品の上市←R&Dの選択と集中
- ② ヘルスケア事業の飛躍的拡大
- ③ 国内ROBO更新需要の確実な捕捉
- ④ 輸出売上の拡大

**<注意事項>**

**当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身がなされるよう、お願い致します。**